

背景と目的

輸送障害によるお客さまへの影響を定量的に評価する指標として「SCORE」が開発・導入・活用されている。一方で、SCOREは輸送障害による影響をマクロに評価する指標であるため、個々の運転整理とお客さま影響の関連性が不明確であり、指令員の技術維持向上の課題となっている。

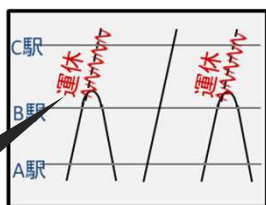
本件名では、この関連性を明確にすることを目標に、「「運転整理の内容が、どの程度輸送影響最小化に貢献できたか」を定量的に表現できる評価指標」を検討し、お客さま影響度をどの程度表現できるか、妥当性・有効性の評価を行った。

開発前の問題点

個々の運転整理とお客さま影響の関連性が把握しづらい。

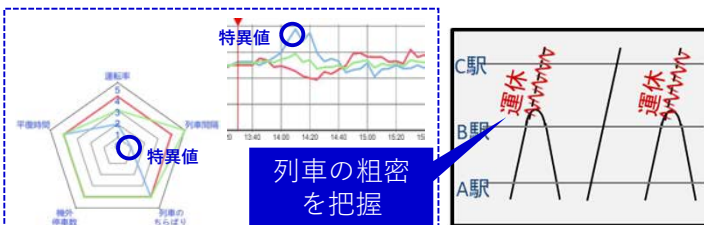
SCORE値 3.99

運休の影響が不明確



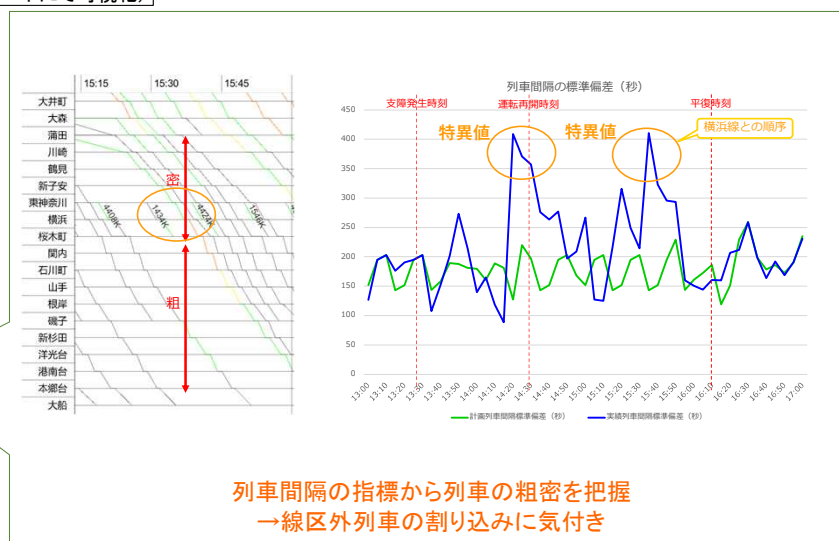
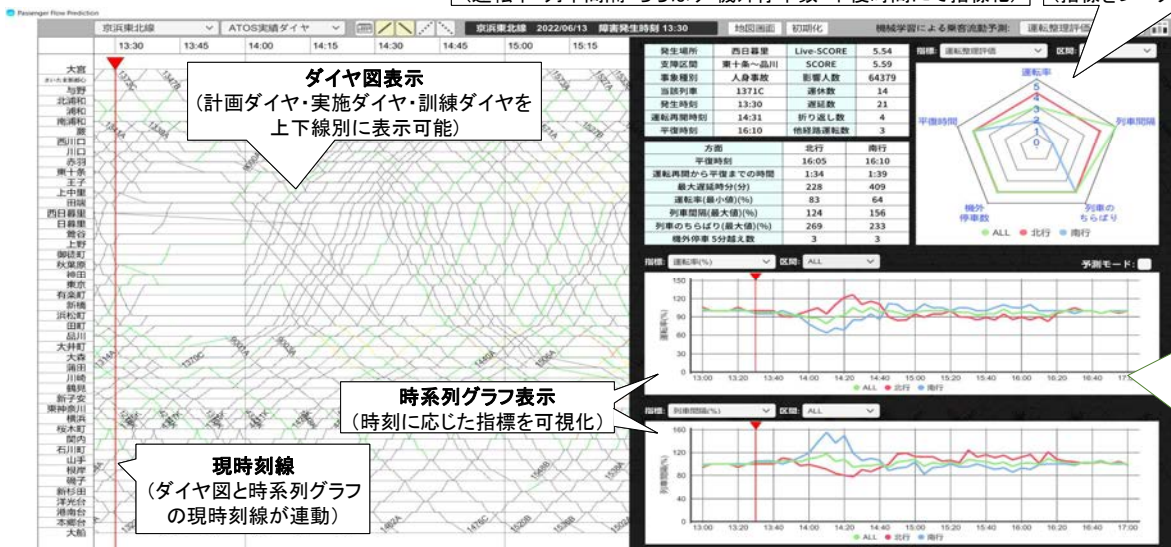
個々の運転整理を定量評価指標（運転率・列車間隔・ちらばり等）で評価できる。

開発してよかった点



開発したもの

定量評価指標とシミュレータ



評価

運転整理を行う指令員の主な意見

- データによる考察ができ **訓練等においても活用できるツール**と感じた。
- 特に指令初級者においては、**運転整理の気付きや技術向上**につながる事が期待できる。

今後

検証事象を増やしブラッシュアップしていく予定